

グリーンピース

～「PEACE」と「PIECE」～

押原中学校

第3学年通信 NO13

2024年1月26日

文責 櫻本 直弘

こんなことくらいしかできませんが

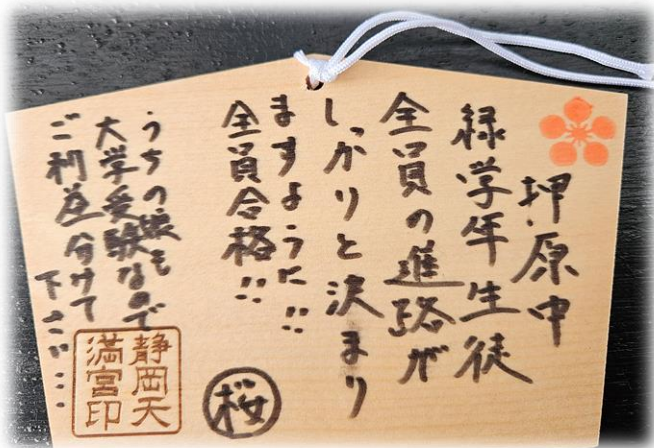
最後の最後は自分の手で切り拓くしかないんです。それが受験です。そしてそれが人生です。我々教員も皆さんの幸せな未来のためにできる限りのことはします。受験対策も行います。面接練習もします。書類も整えます。たくさんアドバイスもします…。

しかし、我々教員であってもできないことがあります。それは「一緒に受験をしてあげること…。」できるものならば試験を一緒に受けてあげたいですが、それは当然不可能です。**我々教員であっても、最後の最後は「祈ること」くらいしかできないんです。**（きっと保護者の皆さんも同じ気持ちだと思いますよ。）

例年、我が家の初詣は近所の小さな神社で、家族揃ってお参りをする程度です。しかし、今年は静岡まで足を運んでみました。理由は少し大きな「天満宮」を求めて…。

神社といっても種類やご利益は様々です。一般的に言われているのは、戦いや勝負事の神様を祀っているのが「八幡宮」、五穀豊穣や商売繁盛の神様を祀っているのが「稲荷神社」、そして**学問や勉学の神様を祀っているのが「天満宮」**…だそうです。世間に名の知れ渡った、九州の太宰府天満宮や京都の北野天満宮に行くことも考えてはみましたが、さすがにそれも難しく、今回は静岡に落ち着きました。

「苦しいけれど頑張れよ！この苦しさがきっと実を結ぶ時が来るから！私にはこんなことくらいしかできませんが、『愛』という言葉や言葉を常に言い続けてきた私の、『不器用な愛情表現』だと思ってください。」



「当たり前」のありがたさ

元日のお祝いムードを一変させた能登半島の大地震…。当たり前の日常が根底から覆される風景…。「**当たり前は当たり前ではない!**」という事を心の底から思い知らされました。「**だからこそ、今ある『当たり前の日常』を大切にしよう。**」そう心に誓った2024年の幕開け…。皆さんはどんなことを感じましたか。

目の前にいる仲間と過ごす当たり前の日々。考えてみれば本当に「貴重」ですよ。そして、そんな「貴重な日々」も残すところあとわずかになってきています。こんな「**昼休みの当たり前の風景**」もあと何回見ることができるのか…。卒業までの残された日々、目の前にある「当たり前」をぜひ大切にしてください。



2月の予定



日	月	火	水	木	金	土
 学校開放日 (~2/2)				1 公立高校 前期入試①	2 公立高校 前期入試② 新入生 説明会	3
4	5 校内研究会 SC勤務日	6 3年到達度 (期末) 検査	7 SC勤務日	8 家庭学習振 り返りの日	9 公立前期 募集内定	10
11 建国記念 の日	12 振替休日	13 職員会議	14 SC勤務日	15	16	17
18 家庭学習振 り返りの日	19 きずなの日 SC勤務日	20	21 1・2年到達 度(期末) 検査①	22 1・2年到達 度(期末) 検査②	23 天皇誕生日	24
25	26 きずなの日 SC勤務日	27	28 家庭学習振 り返りの日 SC勤務日	29		

